



武四郎さんから学ぶべきこと ～A先生との思いで～

監事 齊藤和子

私は今年 3 月まで、津市の中学校に勤務していました。A 先生は私の最後の勤務校での同僚でした。A 先生は私より 1 年後に着任し、5 年間一緒に仕事をしました。1 年ほど経ったある日、A 先生のパソコンに武四郎さんのハンカチが埃よけのためにかけているのを見つけました。声をかけると武四郎会館で求めたとのこと。私たちは、お互いに、職場に武四郎さんを知っている人がいたことに驚き武四郎さんについて少し話をしました。A 先生は人権教育について熱心な先生です。以前の学校で人権教育の教材を探していたら、隣町に松浦武四郎という人がいたということを知り、子どもたちと記念館を訪れ、山本学芸員の話も聞いたとのことでした。



人権という言葉もなかったであろう身分制のしかれた時代に異文化を持つアイヌの人たちに偏見や差別心を持たず、彼らの暮らしや文化を守ろうと権力に屈せず、力を尽くしたことに尊敬の念を抱かずにはいられません。私は同じ職場に武四郎さんの生き方を子どもたちに伝えようとしている同僚がいることを嬉しく思いました。A 先生はその後、こんな記事が載っていたよと新聞を私にくださいました。

最近テレビや新聞で武四郎さんが取り上げられるようになってきました。北海道でも公立小中学校の道徳教材で武四郎さんが紹介されたことが載っていました。武四郎さんの生き方を過去の人として知るだけでなく、国際化の進む今こそ、武四郎さんから学び行動することはたくさんあると考えます。

その後、私は退職し、A 先生は転出され、会う機会はなかなかありませんが、今度お会いできた時、「こんなことを学んだよ！」「こんなふうに心がけてるよ！」と話ができるようになりたいと思っています。

友の会の定期総会が開催されました！！

平成 29 年 5 月 14 日(日)松浦武四郎記念館会議室において、松浦武四郎記念館友の会の定期総会が会員 36 名出席のもと開催されました。

総会では、飯田会長の挨拶の後、来賓として竹上真人松阪市長、竹田正明三雲地域振興局長から挨拶を頂戴しました。竹上市長からは平成 30 年は武四郎生誕 200 年、北海道命名 150 年の大きな節目で、松阪市、北海道で多くのイベントが開催されるので友の会に期待していると述べられました。

引き続き、高瀬役員が議長に選ばれ、議事次第に基づき進行され、平成 28 年度活動報告を田中副会長、会計報告を中島会計、監査報告を齊藤監事、平成 29 年度事業計画と予算計画について説明があり、いずれも承認されました。

また、役員として活躍されました唐津巳喜夫さんが退任され、新たに出口孝次さんが選任されました。



挨拶する飯田会長



来賓の竹上市長(右)と竹田局長(左)

平成 28 年度に実施された主な事業・活動

- ☆ 研修バス旅行(金峯山寺蔵王堂・威徳天満宮・吉水神社等) ☆友の会主催の特別講座実施(2回)
- ☆ 「谷川土清の会」との交流会実施 ☆武四郎まつりに協力
- ☆ 友の会の活動展示(三雲ほっとギャラリー・いつきのみや梅まつり) ☆友の会だより年4回発行
- ☆ 誕生地保存会の研修会に参加(美杉町界隈を巡る、武四郎誕生地界隈を巡る)
- ☆ 松浦武四郎の足跡を訪ねて大杉谷へバス研修 ☆ 会員交流懇談会の実施
- ☆ 松阪偉人顕彰団体協議会に参画(松阪の偉人たち展・総会等) ☆エゾヤマザクラ管理

平成 29 年度事業の主な方向性

- ☆ 毎月第2日曜日に開催される記念館の「武四郎講座」に参加
- ☆ 友の会誌の発行・・・年4回(4月・7月・10月・1月)
- ☆ 松浦武四郎記念館が主催する行事に支援・協力
- ☆ 「友の会」自主事業の実施。主な自主事業は次の通りです。
 - 神鏡を訪ねるバス研修旅行(菅原院天満宮・京都御所) ○市政バスツアー(健康センターはるる等)
 - 松阪偉人顕彰団体協議会に参画(松阪の偉人たち展に参加) ○友の会主催の特別講座(2回)
 - エゾヤマザクラ撮影会・写真展 ○活動展示(三雲ほっとギャラリー) ○会員交流懇談会
 - 他団体との交流会(飯高いもまつり＝大谷嘉兵衛翁の会・いつきのみや梅まつり)

恒例の研修バス旅行を開催しました！！

「武四郎が天満宮に奉納した神鏡を訪ねる旅」を5月24日に44名の参加で実施しました。

今年は、武四郎が作成した聖蹟二十五霊社順拝雙六の内第1番目の菅原院天満宮と京都御所を訪ねました。

行きのバス車内では、訪問先について事前に概要説明を受けた後、現地で実際に確認したので、理解が深まりました。

参加された村田エツ子さんに感想文をいただきました。



菅原院天満宮拝殿前で

研修バス旅行に参加して

会員 村田エツ子

798年桓武天皇が奈良から京都に都を遷した地に菅原天満宮神社と京都御所への旅に・・・バスの中で飯田会長から佐藤貞夫先生に作って頂いた資料を元に菅原道真公の説明を受けて生誕の地に向かった。記念館の中野館長からは武四郎が作成した聖蹟二十五霊社順拝雙六の内今回訪ねるのは1番目の天満宮であるなど、詳しいお話を伺い事前に学習することができました。

バスは天満宮に着き、とてもきれいな神社である印象でした。まず、道真公の産湯の井戸を確認しました。次に、聖蹟二十五霊社順拝第一番・菅原院の石標があり、松浦武四郎が奉納したことも確認できました。石標は高さ1m位で一辺20cmの四角柱でした。

次はいよいよ武四郎は奉納した小神鏡・・・直径30cm位、厚さ3cm位、重さ7kg位で、とても保存状態が良く美しく、室内で大切に保存されていると感じました。

続いて、正式参拝・・・2班に別れて本殿へ入りお祓いを受けました。



小神鏡

祠の中には右は父是善卿、中央道真公、左祖父清公卿の3名の祭神が祭られていました。

宮司様から神社の由緒や境内の変遷、道真のことなどについてお話を伺いました。境内は新緑の季節でもあり、木々の若葉がとても美しくきれいでした。石標や産湯の井戸、梅天神など多くの方々にも見て貰えたら・・・と思いました。

天満宮に別れを告げて、旅館「洛兆」での昼食は京都らしく上品で美味しい食事でした。

午後は、京都御苑の中にある京都御所へ・・・宮内庁の職員の案内で御所の中へ入り、約50分位の説明でした。3万3000坪の敷地へ・・・庭・池は手入れが行き届いている。玉砂利道を石の音を立てながら、御車寄せ・紫宸殿・・・とても素晴らしい。また、建物はところどころ修復中で、天皇が明治になるまで住んでおられたとは思えないほどでした。

帰路の途中に、漬物屋「大安」で京都のお土産物を買ひ、予定通り夕方6時前に記念館に無事帰りました。今回お世話をしていただいた役員の方々ありがとうございました。



「洛兆」の昼食

松阪偉人顕彰団体協議会よりのお知らせ

<1>総会の報告

平成29年4月22日(土)午後に松阪市産業振興センター2階研修室において、平成29年度定期総会が48名出席のもと開催されました。

総会では、高島会長、来賓として永作副市長の挨拶の後、各団体の代表が団体の紹介をされました。

大喜多副会長が議長、石川典子さん(松阪商人を語る会)が司会進行をつとめられ、平成28年度事業報告・決算報告、役員選出、平成29年度事業計画・予算計画について説明があり、全て承認されました。

また、総会后に茶王 大谷嘉兵衛翁の会の小林典子さんによる講演がありました。テーマは「日本の製茶王 大谷嘉兵衛の功績とその生涯」で横浜や静岡での顕彰の動きについて、紹介があり、米国へ輸出の際の関税撤廃については、嘉兵衛とマッキンレー大統領との交渉の場面が寸劇で行なわれ、楽しいお話でした。

<2>第3回「松阪の偉人たち」展が開催されました。

第3回目となる「松阪の偉人たち展」を6月7日(水)～11日(日)の間、松阪市文化財センター第1～第3ギャラリーにおいて開催されました。友の会としても武四郎の業績、友の会の活動、大杉谷、エソヤマザクラ、などについて展示を行うと共に、ギャラリートークでは、飯田会長と田中副会長が武四郎の生涯についてエピソードを交えながら話をしました。

来年(平成30年・西暦2018年)は武四郎生誕200年、北海道命名150年を迎えることや一昨年から今年にかけてテレビ各社や新聞などで武四郎がテーマとして取り上げられることが多くなり、来場者の関心も高まってきました。

※今年、松阪の偉人として展示された主な人物は、次の人達です。

蒲生氏郷、松浦武四郎、大谷嘉兵衛、国分勘兵衛、原田二郎、長谷川可同、東畑精一他



挨拶する高島会長



記念講演の小林典子氏



挨拶する各団体の代表

友の会主催の花見会開催

エゾヤマザクラを記念館北側の広場に植樹して最近では毎年4月20日頃に咲く様になったので、今年は4月16日(日)に初めての花見会を兼ねた撮影会を開催しました。

前日には夕刊三重、当日には中日新聞に昨年のサクラ開花状態の写真とともに花見会の記事を掲載していただきました。約20名の方が観に来られ、「そめいよしの」とは花卉の形とちがうことや、花と葉(茶色や赤茶色)と一緒に咲くことを珍しく鑑賞していました。

この時に撮影された写真は、7月に三雲地域振興局内ほっとギャラリーで展示します。

いきいき健康ウォーク開催に協力

松阪市「いきいき健康ウォーク」が5月18日(木)に、伊勢街道と松浦武四郎コース(約5km)のウォーキングが開催され、市民69名(内友の会会員8名)が参加。ウォーキング前にはウォーキングサポーターでもある飯田会長が地元在住であることから、コースの見どころを話した後、4チームに分かれて、都度サポーターから説明を受けながら健康ウォーキングを楽しみました。

コースは、記念館～武四郎の歌碑～エゾヤマザクラ～小野江常夜燈～伊勢街道(屋号看板)の街並み～真覚寺～誕生地～肥留常夜燈～月本の追分～正福寺～記念館でした。

原田二郎88回忌法要に役員が参列！！

5月5日に原田家の菩提寺である松阪市新町の樹敬寺(浄土宗)で厳かに営まれ、約50名、友の会からは役員3名が参列しました。

5月5日は原田二郎の命日にあたり、毎年同日に法要が行われています。

また、友の会としては、原田積善会から「エゾヤマザクラの看板」や「武四郎が詠んだ歌詩の石碑」建立に際し、助成をして頂いている関係で参列しています。



原田二郎のお墓

【記念館よりのお知らせ】

☆武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

8月13日(日)10:00～ テーマ：未定 講師：山本命主任学芸員

9月10日(日)10:00～ テーマ：未定 講師：山本命主任学芸員

10月8日(日)は地域行事のため未定です。

☆展示のご案内

◆幕末の武四郎 7月30日(日)まで

激動の時代を生きた武四郎の姿を紹介します。

◆武四郎とアイヌ民族 8月1日(火)～10月1日(日)まで

幕末に六度に及び蝦夷地探査を行いアイヌ民族と交流した武四郎の姿を紹介します。

◆武四郎の涅槃図 10月3日(火)～12月10日(日)まで

武四郎の思いが詰まった夢の涅槃図を紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

◆友の会活動展示(三雲地域振興局内ほっとギャラリー) 7月3日～7月28日

◆今年は、市政バスによる松阪市内の施設(健康センターはるるなど)を見学する会は、9月15日(金)に実施する予定です。詳細は8月第2日曜日の武四郎講座の時に、案内・申込み用紙を配布しますので、お楽しみに・・・。